

# 県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2021

6

vol.282

## 郡山駅新幹線ホームに酪王カフェオレの看板設置



サイズ 190cm × 91cm

令和三年六月一日より、JR郡山駅の新幹線下り線ホームの南側待合室（新幹線五号車・六号車停車位置付近）に「酪王カフェオレ」の広告看板が設置されました。

昨今、コロナ禍で帰省や旅行・ビジネス等も自粛を強いられている現状ですが、今後は規制緩和に向け、多くの福島県民が帰省されることが予想されます。

そこで、改めて「福島県民のソウルドリンク」として、多くの福島県民が帰省された際に、故郷にやっと帰れたという、ただいまの気持ちに「おかえりなさい」のキヤッチコピーを添え、コロナの収束を祈念して掲示いたしました。

## 福島県酪農業協同組合の事業の歴史③

福島県酪農業協同組合は、前身の福島県酪農販売農業協同組合連合会から70数年の歴史を持ち、酪農専門農協として全国的にも類を見ない事業展開を実施しており、その歴史と精神は後世に脈々と受け継がれてきました。

しかし、ある意味完成された形として事業が展開されていると、何もかもが当たり前のように感じられ、発展の余地がないように思われてきます。

現在ある姿は、過去から生まれ育ち変遷してきた姿であり、将来へはどう変化していくのか未来があります。

始まりと変遷の歴史を見ることは、未来への糧となります。

酪農家戸数が減少し、職員も減少せざるを得ない中では、組合として事業展開の在り方を考えていかなければならない時期に来ています。

その一助とするために、現在展開されている事業の歴史を職員が勉強して、未来へとつなげていただきたく、次の事業について勉強会を開催します。

- 1) 福島県酪農発祥の歴史と生乳販売
- 2) 福島県酪農協指導事業の歩み
- 3) 福島県酪農協畜産事業・その他の歩み

この記事は、福島県酪農業協同組合の職員勉強会を令和2年12月から令和3年3月まで4回にわたり開催した時の資料を紹介します。

3回目は「福島県酪農協畜産事業・その他の歩み」を掲載します。

事業の歴史は今回で最終回となります。

組合の事業は長い歴史と諸先輩方の努力により積み重なって現在に至っています。

それらを踏まえ今の組合員にとって更に有益な事業となるよう期待します。

(文責：岡)

### 乳牛せり市場の歴史

酪農組合による乳牛の子牛セリ市場は安達郡太田村（現東和町）で斎藤二良氏らの提唱で、昭和13年から行われたのが始まりです。

昭和19年には閉鎖となり、これ以降は酪農組合の斡旋委員または家畜商を通じての乳牛の流通が行われ、時代の変遷とともに酪農生産者は子牛せり市場開設を強く要望してきた。

昭和36年9月から福島、二本松、郡山、船引、白河、石川、鹿島の県内7ヵ所で、県酪連による第1回乳牛子牛せり市場を開催した。

昭和39年からは初妊牛市場を、昭和55年には牡子牛市場も開設し（生乳計画生産に伴う全乳哺育消化のため）、売買価格の適正化と乳牛個体の流通促進を図った。

その間、乳牛の飼養頭数の増加と共に会津市場を増設したが、昭和45年をピークに乳牛頭数の減少、即ち子牛生産の減少により郡山と会津市場は廃止し、鹿島市場は富岡に移して子牛せり市場を行うようになった。

県酪連乳牛せり市場は、昭和44年の出場頭数3,624頭をピークとして漸次減少してきている。

せり市場開設場所は昭和57年12月から本宮の福島県市場（県畜産公社運営：現県畜産振興協会）への統合が始まり平成3年からは完全に福島県市場への一本化が進められた。（乳牛は統合されたが肉牛は統合が進まなかった）

こうした状況の中で、初生牛取引は従来庭先取引（カーフスター集荷）としていたが、取引価格の適正化と市場の活性化を促進するため、また現場職員の業務負担削減も考慮して、平成14年12月から毎月初生牛市場（毎回約250頭）の開催に踏み切った。

また、年数回は初妊牛・子牛・初生牛の同時開催も行い好調に推移している。

#### [せり市場設置場所推移]

昭和36年初年度	(4) 福島、二本松、白河、石川
昭和37年～39年	(7) 福島、二本松、白河、石川、船引、鹿島、郡山
昭和40年～43年	(6) 福島、二本松、白河、石川、船引、鹿島
昭和44年～49年	(7) 福島、二本松、白河、石川、船引、鹿島、会津
昭和50年～56年	(6) 福島、二本松、白河、石川、船引、双葉
昭和57年	(7) 福島、二本松、白河、石川、船引、双葉、福島県
昭和58年～平成2年	(2) 双葉、福島県
平成3年～現在	(1) 福島県

## 初生牛の取引

乳牛の雄牛は従来資源としての価値はなく、馬喰等による処分が主な取引形態だったと思われる。

昭和40年代に入り、日本人の牛肉志向の高まりに伴い、肉牛の素牛としての価値が見直され、県内においても西白河・石川・双葉郡酪・達南などで哺育事業が始まり、県酪連が斡旋することとなった。

昭和47年1月1日：「乳牛の雄子牛（牡犢）は皆さんの酪農協へ販売しよう」

昭和48年6月1日：「乳用牡犢（初生牛）は酪農協へ販売しよう」

（肉需要の高まりに伴い雌子牛まで肉用になった。）

昭和54年からの生乳計画生産の実施により、全乳哺育が始まり雄子牛にも飲ませることにより哺育量の増加を図るとともに、肥育素牛を安定的に販売するため、昭和55年6月セリ市場から販売を開始した。

昭和55年6月	55頭	最高23万	最低6.2万	平均11.8万
9月	25頭	18.9万	4万	10万
12月	25頭	14.1万	2.2万	6.8万

その後、昭和61年6月3日にカーフスター（伊藤忠）との初生牛取引が始まった。

外貌チェック（特にヘソは厳しかった）の後、体重を測定し、価格が決定した。

価格の透明性と飼養管理等のアドバイスにより、県全域での取引に移行していった。

（昭和61年6月3日取引相場）

120～130kg:1,000円/kg    90～120Kg:1,100円/kg

50kg前後 :1,400～1,700円/kg

平成14年セリ市場以降まで取引は継続された。

那須のカーフスター哺育センターで育成後、素牛として鹿児島へ販売された。

開拓連とは、島根県見島に現存する古来種の見島牛精液を乳牛に授精し、F1初生牛を供給する事業も展開したが、長続きはしなかった。

## 搾乳不適格肥育牛の取引

「受胎する見込みのない牛、泌乳能力の極端に悪い牛などいわゆる搾乳不適格（廃牛）の商品価値を高め、肉資源の確保と酪農経営の安定を図るために、全酪連と提携して、これらの廃牛をすぐに処分することなく、短期間の肥育をして肉質を向上させ、肉牛として共同出荷することにいたしました。」

（昭和51年9月1日発行福島県酪連速報より）

販売ルート 全酪連（結城公社） --- 県酪連 --- 単協 --- 酪農家

肥育…4か月間肥育専門飼料を給与（肥育飼料代金は4か月後決済）

相場…屠殺前日の中央市場単価の格付け

（昭和51年9月27日7頭出荷）

最 高	374kg	1,252円	468,248円
最 低	213kg	585円	124,605円
平 均	327kg	1,136円	372,501円

その後はF1生産も含め出荷先として、東京第2市場（立川）、東京第1市場（芝浦）、戸田（明治）、大宮などに出荷した経緯がある。

現在は、結城と熊本県酪連となっている。

また、付加価値を高めて販売できるよう、枝肉共励会を頻繁に開催した。



## その他の事業

## (1) 計画生産

生乳の需給（消費と生産）のアンバランスにより、乳製品（バター、脱粉）の在庫が増加したため54年度から需給に見合った生産（計画生産）に入りました。

その結果、需給バランスが良くなり、乳製品の在庫が減り、一時は畜産振興事業団の脱粉在庫も0となったので、脱粉輸入の話が持ち上がった為、輸入阻止しようと緊急に5万tの生乳増産運動を行った経過があります。

この増産運動と時を同じくして、濃厚飼料の値下げが相次ぎ、全国的に生乳生産が伸びてきました。

その結果、再び乳製品在庫が増加し、乳業メーカーの買入制限や価格引下げの要求が出始め、このままでは酪農乳業界に大混乱を招来し、生産者乳価の暴落は必至となることから、混乱を防止し、再生産できる乳価維持を願望して、61年単年度需給均衡を図るため、前年度より3.1%減産という厳しい計画生産目標が打出されました。（昭和61年10月酪連速報）

## 昭和61年度生産目標 前年度102.5%以内

- 超過分は極力全乳哺育で消化し、消化しきれない分は、特別余乳として乳製品に処理しようと計画した。
- 4月～9月生乳生産量103.5%のままだと、132,000t見込み
- 122,227tの出荷割当を9,443t超過 ----- 全乳哺育5,124t、余乳4,319t
- 62年1～3月支払乳価13円/kg低下、製品引き取り
- クリームセパレーター・バターチャンを購入（各単協）し、婦人部を中心にバターの製造自家消費も推進した。（61年6月）

## (2) 飼料設計用ポケコン購入（昭和58年12月）千葉県普及所から



## (3) 経営診断PC購入（昭和60年10月）

乳代精算後のデーターを活用して、個人毎の経営診断書を毎月発行した。

これは宮崎県酪連で実施されていた事例をヒントに、現在のクラフトにソフト開発を依頼した。

その後、自作による購買システム、県酪連飼料設計システムなどをへて本格的なPC導入活用へと進んだ。

## (4) ポケットベル、携帯電話の導入

幹旋業務の多忙化により、出張が多くなり事務所勤務時間が少なくなったため、連絡・指示のためポケットベルを初めて導入、その後携帯へと移行し普及していった。

## 飼料タンク掃除実施のお願い

福島県酪農協  
生産部 購買畜産課

### 【酪農家の皆様へ】

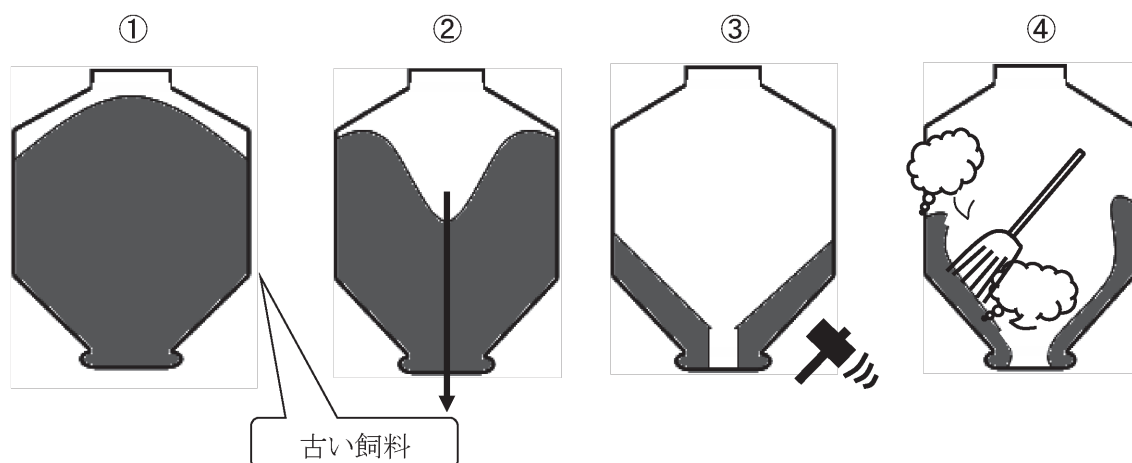
いつもお世話になっております。

昨年は、多くの個所で配合飼料だけでなく乾草等のカビ被害の報告を受けました。

これからの梅雨の季節は温度・湿度が高くなり、カビが発生し易くなります。

飼料タンクの壁側に古い飼料が付着したまま放置しますと、カビの発生を引き起こし、新しい飼料にカビが混入する可能性があります。貴牧場のタンクもご確認の上、長期間付着している古い飼料があれば、下記の方法にて取り除いて頂くようお願い致します。

### 〈特に梅雨期前後に実施しましょう〉



飼料をタンク内に注入しますと、中心部が山のように盛り上がった状態になります。

飼料を出しますと中心部が陥没する状態が出てきます。側面飼料は内部に残ります。

第2回以降に飼料を入れる際は、ゴムハンマーで側面を軽くたたいて古い飼料を落とした後に入れて下さい。

1年に一度はタンク内部を完全にからにして、点検・清掃を行って下さい。

- ★側面に飼料がついたまま新しい飼料を入れますと側面の飼料は固着して落ちません。
- ★金属部分は年1回必ず塗装して下さい。
- ★ワイヤー金属部分がゆるんだ場合にはタンバックルを締めて下さい。  
(雨水の浸水防止)
- ★タンクを水洗いした際は、しっかり風を通し乾かして下さい。

※飼料タンクの事でお気付きの点がありましたら、各支所・事業所担当までお問い合わせ下さい。

# HeatDown EX ヒートダウンEX

下記の問題にお困りではありませんか？

- 暑熱ストレス
- 産後疾病の回復に時間がかかる
- 乳房炎の回復に時間がかかる



## 原材料名

トウモロコシ、大豆粉、ふすま、ブドウ糖、糖蜜、酵母菌、ユッカ抽出物、しょうが、乳酸菌、枯草菌、ゼオライト、麹菌発酵抽出物、植物性油脂、(含有する飼料添加物:ニコチン酸、硫酸亜鉛)

## 給与方法

暑熱対策: 30g/1日1頭(推奨時期5月~10月頃)  
乳房炎・産後疾病牛: 50g~100g/1日1頭



株式会社エヌワイエス

- 〒025-0001 岩手県花巻市天下田158-5 ☎0198-22-3978
- ホームページ: <http://www.nyscoltd.co.jp>

購買畜産課からのお知らせ!!

# 2021年サマーキャンペーン!!

## 乳製品お買い得キャンペーンのご案内!!

今年も早いもので、半年が過ぎ、長梅雨の影響で、じめじめする毎日ですが、暑い夏は目の前です!!  
 コロナ禍のこんな時ではありますが、ほっと一息のおやつに、おうち晩酌のおつまみに、なかなか会えないご家族や知り合いにプレゼントとして、乳製品のお買い得キャンペーンをぜひ、ご利用ください。  
 さらに、皆様のご要望が多かった「全酪酪農家バター200g」をこの度、通年を通して、製造販売を行うこととなりましたので、あわせてご利用ください。

取り扱い乳製品のラインナップは、下記のとおりです。

キャンペーン価格 (税込み)  
 (2021.6月1日～9月30日まで)



- |                      |      |
|----------------------|------|
| ①全酪酪農家バター200g        | ¥429 |
| ②おいしいスモークチーズ (プレーン味) | ¥297 |
| ③おいしいスモークチーズ (ペッパー味) | ¥297 |
| ④ハートハームとろけるスライスチーズ   | ¥352 |
| ⑤ハートハームスライスチーズ       | ¥352 |
| ⑥ハートファーム6Pチーズ        | ¥363 |
| ⑦みちのくゴダチーズ           | ¥803 |



各支所等により、取扱い商品の在庫がない場合もありますので、お問い合わせいただきますようお願いいたします。また、ケース単位での注文の場合、ご注文からお届けまでに、1～2週間程度、お時間をいただきますので、ご了承ください。

※切れてるチーズは、キャンペーン対象外です。

今年の夏も、乳製品サマーギフトキャンペーンも、例年通り、準備しておりますので、ギフトのご案内・申込書を追って、ご案内いたしますので、もう少々お待ちください。

問い合わせ：購買畜産課・各支所・事業所 まで

# 生産基盤推進室コラム

6月

## 飼料から見直す低カル予防

乳牛にとって周産期病対策は永遠のテーマです。中でも低カルは起立不能、第四胃変位、乳房炎等ほとんどの周産期病のスタート地点になることが知られています。今月号は飼料給与から見直す低カル予防についてお話ししたいと思います。

### 低カルは万病のもと

低カルとは正式には低カルシウム血症と呼ばれ、酪農家さんはよくご存じの病気かと思えます。牛の血中カルシウム濃度は通常7.5~10.9mg/100mlの間で保たれておりますが、7.4mg/100mlを下回る状態を低カルと言います。特に低カルが起こるタイミングと言えば分娩後です。分娩後乳牛は急速な生乳生産を求められ、生乳中へのカルシウム移行が活発になります。この結果、要求量に対する体内のカルシウム動員が間に合わず、血中のカルシウム濃度が低下することになります。

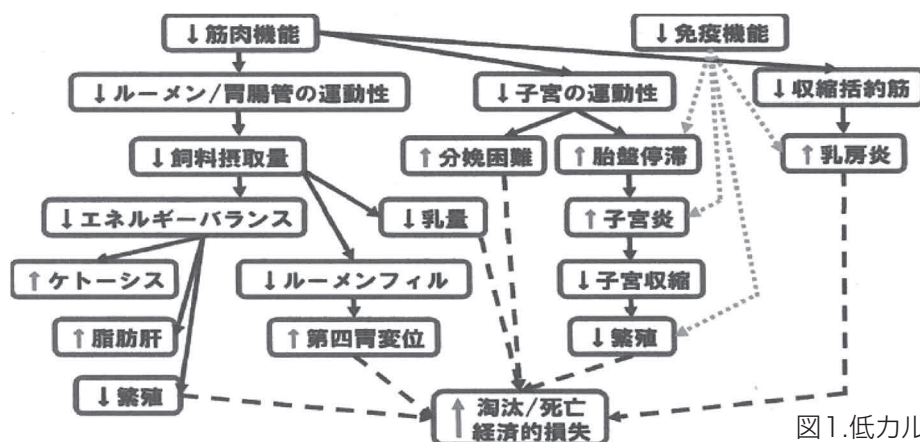


図1.低カルが起こす連鎖

上に示した図は、周産期の乳牛に起こりうる疾病や症状についてまとめたものです。ケトーシスや第四胃変位等見慣れた疾病が多いのではないのでしょうか。矢印のもとをたどっていくと、**筋肉機能の低下**という項目に行きつきます。

この筋肉機能の恒常性に大きく関わっているのが**カルシウム**です。カルシウムとは主に筋肉機能の維持に働くミネラルであり、血中カルシウム濃度の低下が多くの周産期病につながることを上の図1からご理解いただけるかと思えます。

### 飼料の見直しで低カルを防ぐ

#### ○乾乳牛へのカルシウム給与体系

乾乳牛へのカルシウム給与について、広く普及されている方法としては、「クローズアップ期（分娩3週間前）でのカルシウム給与制限」が挙げられます（図2）。

図2.クローズアップ期でのカルシウム給与制限



しかし、この方法はクローズアップの飼料中Ca濃度を低く（おおむね0.5%以下）抑えられる場合に有効であると言われております。乾乳に乳配を使用していたり、自給飼料のCa濃度が高い場合には乾乳飼料中のCa濃度を低く抑えることは困難となるため、その場合には逆にCa剤を給与することで、飼料中のCa濃度を高める方法が有効となります。



実際には乾乳牛へのカルシウム給与体系には様々な定説があります。上記とは全く異なる、「クローズアップ期でカルシウムを給与する方法」もあれば、「乾乳期間は総じてカルシウムを制限する方法」もあります。これはさきほど説明しました、Ca添加剤以外の飼料中Ca濃度がそれぞれの農家さんによって異なることから生じるものです。どの方法が正しくて、効果があるとは言いきれず、農場ごとの飼料メニューに合った方法が正解となります。

分娩直後での事故が多いようであれば、乾乳牛の給与体系に問題があるかもしれません。乾乳牛へのカルシウム給与と合わせて、飼料メニューの見直しが必要になるかと思しますので、ぜひ生産基盤推進室までご相談ください。

### ○乾乳期のDCAD管理

県酪だより3月号にてDCADについて説明いたしました。おさらいになりますが、下記の計算式をもとに飼料中のDCADは計算されます。

$$DCAD = \left( \begin{array}{c} \mathbf{K} \\ \text{カリウム} \end{array} + \begin{array}{c} \mathbf{Na} \\ \text{ナトリウム} \end{array} \right) - \left( \begin{array}{c} \mathbf{Cl} \\ \text{塩素} \end{array} + \begin{array}{c} \mathbf{S} \\ \text{硫黄} \end{array} \right)$$

飼料中のDCADが高くなることによって、分娩後のカルシウム代謝に不具合が生じ、低カル発症リスクが高まることも以前の県酪だよりにてご理解いただけたかと思います。

特に福島県においては震災以降、自給飼料が高カリウムとなるケースが多いため、定期的成分分析を推奨いたします。

初めに説明しました乾乳牛へのカルシウムの給与法については、諸説あるため実行と検証が難しいものがあります。しかし、こちらの「飼料中のDCADを下げる」という方法については、乾乳牛の管理において間違いのない方法です。乾乳飼料のDCAD調整をしたいということであれば、生産基盤推進室までお問い合わせください。飼料の成分分析や飼料設計をもとに改善案を提案いたします。

### ○分娩前のビタミン給与

前々回になりますが、生産基盤推進室コラムにて脂溶性ビタミンについて紹介し、そこでは脂溶性ビタミン（ビタミンA、D、E）は周産期に不足することを説明しました。

初乳には生乳に比べ何倍ものビタミンA、D、Eが含まれており、分娩に向けて初乳の生産を進める乾乳牛は脂溶性ビタミンが不足している状態が予想されます。中でもビタミンDは体内のカルシウム代謝に関わり、血中カルシウム濃度を高める作用を持ちますので、ビタミンD不足が低カルにつながるケースも多くあります。

固形状のビタミン剤を給与している場合は、約50gほどを毎日給与。また分娩1～2週間前から液状ビタミン剤を10～20ml/日の給与ができれば望ましいです（図3）。

図3.乾乳期間中のビタミン給与



今月は飼料から見直す低カル予防ということで説明いたしました。冒頭でも紹介したように、低カルは周産期病のスタートです。低カルを発症すると、ケトシスの発症率が5.2～15.3倍高くなり、第四胃変位の発症率が53.5倍になるという報告もあります。

起立不能等、不調が見えるまで低カルは気づきにくい疾病ですが、今回ご紹介した方法を参考に少しでも低カルの発生が減少すればと思います。今月もありがとうございました。

# ZENOAQ コーナー Vol.198



## ハエの発生する時期です!

\*ハエの牛に与える影響とは?

\*ハエの発生をコントロールするには?

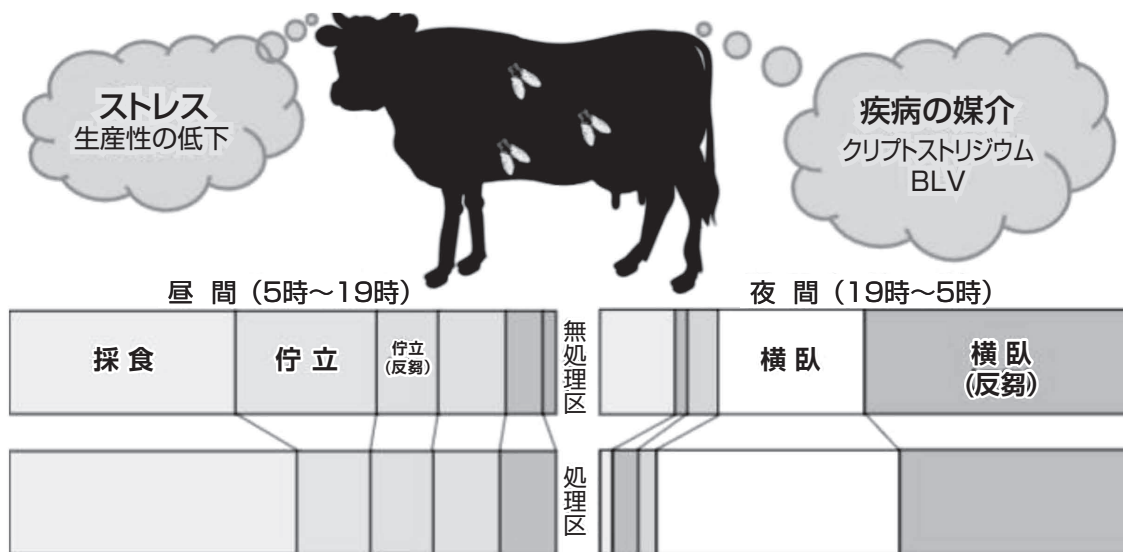
〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

ハエは非常に小さい昆虫ですが、牛がストレスを抱える一因になります。



供試牛の行動型の昼夜別比率の比較(農地家畜害虫研 1987)

サシバエは吸血ストレスを与え、イエバエは牛体に付くことでストレスを与えるだけでなく、病原体を媒介し、間接的に牛の生産性に影響を与えます。

昼間の採食、夜間の休息ができるようハエ対策と環境を整備することが重要です。

### 現場の声

- ・成虫対策をしているが、なかなか思うようにハエの数が減らない!
- ・ただでさえ忙しいのに、対策にコストも労力もかけたくない!



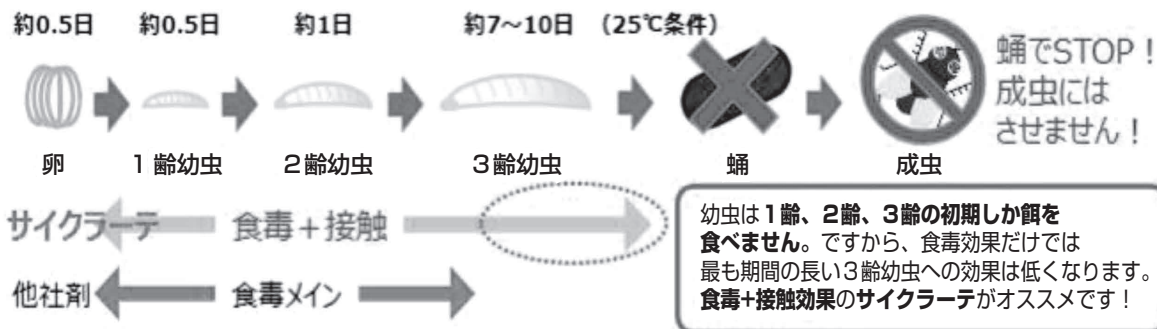
**発生源対策はスタートが大切です!**  
**スタートが遅れるとハエの数は爆発的に増加します!**

### イエバエ・サシバエの生態

- ・家畜の糞を主な発生源にする。
- ☞ イエバエとサシバエの幼虫の生息場所はほとんど同じです!
- ・温度によって発育期間が変わる。
- ☞ 卵から成虫になるまでの日数が温度によって変わります!

温度	発育期間 (日)
16℃	36~42
20℃	18~21
25℃	11~13
30℃	8~10
35℃	6~8

**発生源対策に有効な殺虫剤：サイクラート SG、サイクラート SG5 とは？**



**サイクラートの効果的な散布方法**

- ☞ 動噴などでよく染み込むように噴霧すると、より効果的です。
- ☞ 水 1 L に 20 g を溶かして 1㎡分です。(幅 30cm の場合、3.3m 分に相当)
- ☞ 7~9 月はハエのサイクルが早いので、週に 1 回処理してください。



幼虫対策を行うことで殺虫剤を撒く回数も減っていきます！  
1㎡につき20g (約ハッチ1つ分) を週に1回散布です。

殺虫剤・防虫用雑貨特別推進を7月31日まで実施しておりますので組合様、ゼノアックスタッフにお問い合わせください。



## 全酪連の小窓 6月号 ～生乳品質～

もうすでに暑くなり半袖の時期になりました。暑熱対策も必要な時期ですが、同時に生乳の風味異常、アルコール不安定乳など品質に関するトラブルも増加する季節に突入します。さて、今回は生乳品質についてお話したいと思います！

おいしい牛乳って  
どんな牛乳？



牛乳の美味しさは『風味味と香り』の良し悪しがポイント！

- ▶ 牛乳の味 ……乳成分に大きく左右される
- ▶ 牛乳の香り ……乳牛の健康や畜舎環境、その他が影響

### 風味への影響

**味** ☆コク……乳蛋白、乳脂肪 ☆なめらかさ……乳脂肪  
 ☆甘さ……乳糖 ☆苦味……マグネシウム、カルシウム  
 ☆酸味……クエン酸、リン酸  
**香り** ☆乳脂肪、揮発性イオウ化合物(加熱臭)など

\*個人的な見解は多々ありますが、若年層の風味の好みの傾向として匂いが少なく、味や口当たりの良い牛を好むことが推察されており、壮年層の傾向として濃度の高い(コクのある)牛乳が評価が高いとする調査結果があります。

### ～ 生乳の異常臭とは？～

- ◆移行臭 (飼料臭、雑草臭、乳牛臭、牛舎臭など)
- ◆脂肪分解臭 (リパーゼによる脂肪分解時に起きる異常臭)
- ◆酸化臭 (リノール酸の酸化などで起きる異常臭)
- ◆光誘導臭 (光照射による脂質・蛋白の変性時に起きる異常臭)
- ◆微生物性臭 (細菌による脂質・蛋白の分解時に起きる異常臭)



# ZENRAKUREN



## 主な異常風味の原因と対策

種類	内容	原因	主な対策
酸化臭	乳脂肪（不飽和脂肪酸）の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>粗飼料不足</li> <li>濃厚飼料多給</li> <li>粕類飼料多給</li> <li>ビタミンE不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新鮮で充分量の粗飼料を給与</li> <li>給与メニューの見直し</li> <li>ビタミンEの給与</li> </ul>
脂肪分解臭（ランシッド）	リパーゼによる脂肪酸の分解（遊離脂肪酸の生成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>搾乳間隔が8時間未満</li> <li>極端な栄養不良</li> <li>貯乳の再冷却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>搾乳回数を3回／日以内に制限</li> <li>飼料給与の見直し</li> <li>暑熱対策</li> </ul>
移行臭	環境・飼料の異臭が牛の呼吸器を介して牛乳へ移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>腐敗サイレージの給与</li> <li>匂いのきつい飼料の給与</li> <li>牛舎内の臭気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劣化サイレージの給与中止</li> <li>良質な粗飼料の給与</li> <li>牛舎内の換気</li> </ul>

その他にも・・・

### ～ アルコール不安定乳 ～

生乳中の蛋白（ガゼイン粒子）が凝固しやすい状態の生乳。  
 ガゼイン粒子はpH6.7でマイナスイオンが多い状態でお互いに反発しあう  
 ⇒凝固しにくい状態が正常とされる。  
 細菌が生成する水素イオン（プラスイオン）が増加すると粒子同士の反発力が弱まり凝固しやすくなり、乳製品製造において支障をきたす。  
 対策：衛生管理の改善、ルーメンアシドーシスの予防、血中カルシウム濃度の確認



暑熱対策に！

飼料分析も！



給与方法や給餌メニューでご不明な点がございましたら、  
 全酪連スタッフや福島県酪職員へご相談ください！

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2021年4月30日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北支所	35	36	97.2	470	264	117	537	780	1,434	2,168	2,268	95.6	61.9
県中支所	67	73	91.8	307	181	120	383	840	1,343	1,831	1,912	95.8	27.3
浜支所	7	7	100.0	73	41	27	57	119	203	317	323	98.1	45.3
県南支所	40	41	97.6	701	312	207	690	1,018	1,915	2,928	2,828	103.5	73.2
県酪合計	149	157	94.9	1,551	798	471	1,667	2,757	4,895	7,244	7,331	98.8	48.6

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	2021 5月	2021 6月	2021 7月	2021 8月	2021 9月	2021 10月	2021 11月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県北支所	85	112	116	151	135	153	166	32	38,531	1,204	29.3	26.9
県中支所	82	82	90	89	111	104	126	67	31,501	470	25.8	23.5
浜支所	18	23	21	22	18	12	11	7	4,991	713	28.4	24.6
県南支所	116	144	147	166	176	204	256	40	48,087	1,202	28.2	25.1
県酪合計	301	361	374	428	440	473	559	146	123,110	843	27.8	25.2

令和3年度受託乳量の状況

令和3年4月の受託乳量は、県全体で前年比98.2%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,693トンの前年比101.4%（対前年同51トンの増）、全農県本部は1,599トンの対前年比91.5%（対

前年同月148トンの減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比98.6%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.4%となりました。

令和3年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量について、昨年は新型コロナウイルス感染症流行による小中学校休校により、学乳向けの販売数量が大幅に減少していましたが、今年度は小中学校で通常授業が行われ学乳向けの販売数量が元に戻った影響で、前年比で学乳向けが287.0%と前年を大幅に上回って推移しました。学乳向け以外の各用途向け販売数量は、前年比で醗酵乳向けが100.8%、生クリーム向けが105.1%と前年を上回り、飲用向けが99.8%、加工向けが74.7%、チーズ向けが94.3%と前年を下回り推移しました。

引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力

をお願い致します。酪王乳業では令和3年4月に、昨年、大好評をいただきながら惜しまれつつ終売しました商品である『酪王バナナオレ』を期間限定で再発売しました。たっぷりの生乳と練乳と生クリームで作ったコクのあるバナナオレです。ご愛飲いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均50.5トン（前年比108.2%）で、本組合生産量の41.0%、県全体生産量の28.6%の処理量となりました。

令和3年度4月別支払乳価表

令和3年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据え置きとなりました。今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より1円54銭3厘上回る単価となりました。前年については、小・中学校休校に伴う学校給食停止と飲食店や宿泊施設利用自粛に伴う業務用牛乳・乳製品使用の急速な減少により、加工向けが急増し手取り乳価は減少しましたが、今年は学校や各施設の再開により、加工向けに仕向けられていた生乳が乳価の高い学乳向けに仕向けられた影響で、手取り乳価が増加しております。

全国の新型コロナウイルス感染者数が減ることが、人・物が今までとおり動き出し、経済も回復し、結果、牛乳・乳製品の消費回復と乳価が上がることに繋がっていきます。大阪府をはじめ、全国で感染者数が増加し続けている現状を踏まえ、令和3年4月25日から5月11日にかけて1都2府3県を対象とした緊急事態宣言が出されていましたが、感染拡大が止まらないことを受けて、期間の延長と実施区域の拡大が発令されました。また、福島県内でも5月15日から5月31日にかけて非常事態宣言が発令され、県内全域での不要不急の外出自粛、酒類を提供する飲食店などへの営業時間の短縮の要請が出ている状況です。油断できない日々が続いておりますが、感染症対策を徹底し、皆さんで新型コロナが終息するまで頑張ります。医療従事者皆様のご苦労については感謝申し上げます。

■東北全体プール乳代金 4,437,758千円 単価108.165円  
 ■内 福島県分プール乳代金① 514,096千円 単価108.165円  
 プール対象外乳代金② 78,282千円  
 (学乳向け・買取向け乳代金)  
 合計乳代金①+② 592,378千円 単価111.950円

項目	令和3年4月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	108円896	106円883	2円013	106円454
補給金単価	1円223	1円590	-0円367	1円055
集送乳調整金単価	0円383	0円486	-0円103	0円316
合計	110円502	108円959	1円543	107円825

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体4月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	27,359	912.0	99.8	63.6	62.8
加工向け	5,780	193.0	74.7	13.4	17.7
学校給食向け	2,020	67.0	287.0	4.7	1.6
醗酵乳向け	7,291	243.0	100.8	16.9	16.6
生クリーム向け	466	16.0	105.1	1.1	1.0
チーズ向け	132	4.0	94.3	0.3	0.3
合計	43,048	1,435.0	98.6	100.0	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

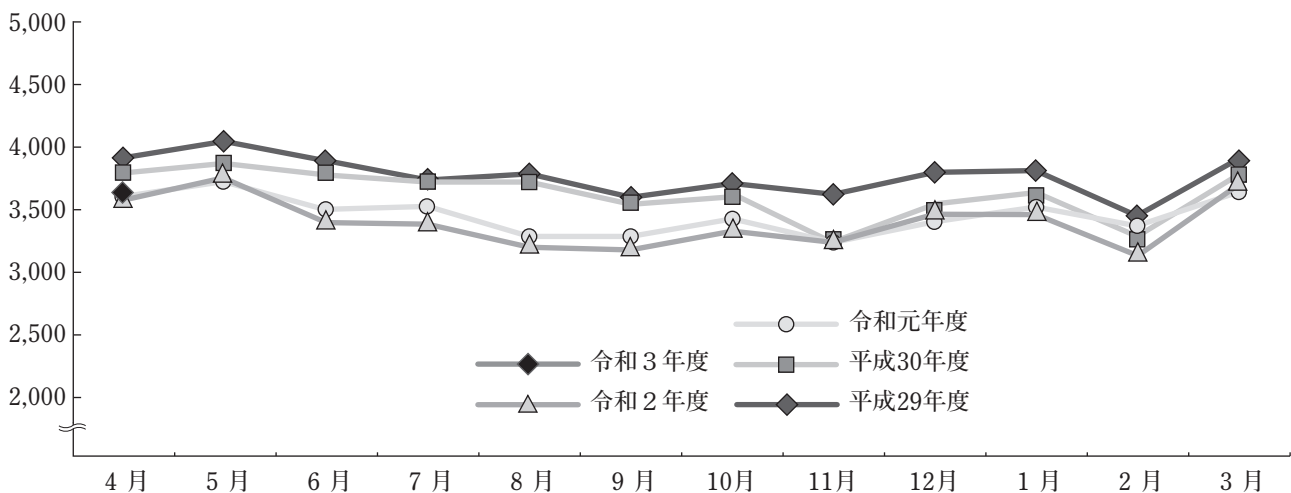
北海道：101.8%、都府県：100.9%

団体名	4月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,693	123.1	101.4
全農福島県本部	1,599	53.3	91.5
合計	5,292	176.4	98.2
東北生乳販連	43,047	1,434.9	98.6
全国	609,802	20,326.7	101.4

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693												
前年比%	101.4												

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
令和3年度	110.502												
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141

## 第307回 県酪協乳牛市場成績

令和3年5月14日開催

購買者数 32名（うち県外15名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	6 (100)	547,000 224,000	452,000 ( 94)	89 ( 86)	5,098 ( 110)
		雄	9 ( 90)	619,000 263,000	497,667 ( 97)	106 ( 95)	4,705 ( 103)
	乳 牛	メス	3 (100)	79,000 23,000	54,333	67	815
		雄	54 (100)	196,000 14,000	137,222 ( 91)	80 (103)	1,726 ( 89)
	交 雑 牛	メス	76 ( 98)	324,000 32,000	193,105 (101)	77 ( 99)	2,523 (102)
		雄	72 ( 98)	366,000 29,000	221,319 ( 97)	82 (100)	2,689 ( 96)
経 産 牛			0 (100)	0 0	0		
初 妊 牛			7 (100)	679,000 613,000	650,286 (109)		
搾乳用雌子牛			4 (100)	399,000 329,000	349,250 ( 96)		

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です）

畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																							
		<26	~ 39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
ET和牛	メス	1						1					2	1				1							
	雄	1			1		1				1					1		1				2			1
乳 牛	雌雄	価 格 帯 (万円)																							
		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
乳 牛	メス			1				1	1																
	雄		2		1	4	1	2	1	1		1	1	2	2	4	8	4	10	8	2				
交 雑 牛	雌雄	価 格 帯 (万円)																							
		<12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
交 雑 牛	メス	9		2	3	2	3	6	11	7	9	11	6	2		1	2			1		1			
	雄	5	1	1	3	3	2	6	4	6	1	5	5	4	9	5	3	1			1	3	1	1	0

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

価格帯(万円)	<16	17	18	19	20	21	~ 24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	~ 46	47	~ 52			
経産牛																									
価格帯(万円)	<43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67
初妊牛																			1	1	1	0	1	0	3
価格帯(万円)	<18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
搾乳用雌子牛															1	2					1				



組 合 の 動 き 5 月

5月6日	定期監査（支所）	5月19日	福島県牛乳普及協会理事会・総会
5月7日	定期監査（本所）	5月20日	ヘルパー利用組合 理事会
5月7日	福島県獣医師会理事会	5月20日	福島県酪農ヘルパー協会決算監査
5月10日	福島県酪農関係団体協議会	5月20日	臨床研究会総会
5月11日	第2回役員候補者推薦会議	5月21日	日本ホルスタイン登録協会令和2年度 決算監査会
5月12日	原発事故酪農団体協議会幹事会	5月21日	乳質改善検討委員会
5月12日	福島県牛乳普及協会幹事会	5月25日	福島県乳牛改良推進協議会幹事会
5月13日	ヘルパー利用組合決算監査	5月25日	全酪連理事会（WEB）
5月13日	ヘルパー利用組合三役会	5月26日	酪王乳業(株)取締役会
5月14日	乳牛せり市場	5月26日	(株)らくのう乳販取締役会
5月14日	東北生乳販連料理コンクール・ 実務担当者会議（WEB）	5月27日	第2回理事会
5月18日	県中支所運営委員会	5月28日	福島県乳牛改良推進協議会理事会・総会
5月18日	令和2年度福島県乳牛改良推進協議会 監査会	5月28日	第2回経営検討会

理 事 会

第2回 令和3年5月27日

議 案

- 議案第1号 令和2年度事業実績報告および部門別  
損益報告並びに定期監査報告について
- 議案第2号 令和3年度財務計画（案）について
- 議案第3号 令和3年度経費の賦課及び徴収方法の  
決定について
- 議案第4号 令和3年度における理事及び監事の報  
酬について
- 議案第5号 令和3年度における（一社）福島県酪  
農ヘルパー協会に対する経済事業預け  
金の取り崩し並びに出捐について
- 議案第6号 第八次増資3カ年計画について
- 議案第7号 役員を選任について

- 議案第8号 役員退職慰労金の支給について
- 議案第9号 第28回通常総会の開催並びに提出議案  
について
- 議案第10号 令和2年度表彰について
- 議案第11号 委員会規程の変更について

報 告 事 項

- 1) 子会社の事業報告について
- 2) 畜産環境整備リース事業の貸付申請について
- 3) 令和2年度第四半期経営検討農家の現状について
- 4) 役員の特約傷害保険加入について
- 5) 今後の日程について



今流行りの「鬼滅の刃」の登場人物の衣装を模したカーフジャケットを作ってみました。鬼を退治できるくらい立派な牛に育てられるかな！？

泉崎村 中野目正明さんより



### 『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(∩o∩)する話題がいいですね）  
◎文章だけでも結構です。  
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）  
メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。  
**E-mail : [yuuki-saitou@fukuraku.or.jp](mailto:yuuki-saitou@fukuraku.or.jp)・FAX0243-33-1103**